

トピックス

予防接種について

②麻しん

今回は麻しん(はしか)の話です。とかく日本人は麻しんを軽く考える傾向にあり、「はしかのようなもの」と例えるがごとく、感染しても治るのが当たり前とされている方が多いようです。その結果麻しんワクチン接種率が、愛知県では約 85%と比較的高いですが、全国平均では 50%と、先進国の 90%以上と比べ非常に低い接種率になっています。そのため外国における日本人のワクチン未接種児童による麻しん集団発生が問題となっています。日本が麻しん輸出国と言われるゆえんです。日本でも麻しんによる死亡者が現在でも毎年推定数十人以上も発生していること、特に乳幼児では死亡だけでなく、脳炎を含む重症の合併症の発生や入院を必要とすることが少なくないなど、決して楽観できる疾患ではないことをまず認識してください。大人の初感染でも、肺炎など重い合併症を引き起こすことがあります。麻しんはワクチンによる予防効果が高く、特に日本のワクチンは優秀で、生後一年から接種可能です。諸外国ではMMR(Measles(麻しん)、Mumps(おたふく風邪*)、Rubella(風しん):いずれも生ワクチン)の3種混合ワクチンとして、2回接種しているところが大半です。したがって海外で麻しんワクチン単独接種を希望しても、同単独ワクチンは製造されておらず、MMRを接種することになります。混合ワクチンを接種することでの他のワクチンの過量投与の影響はないとされています。

ところで海外赴任時、時間的余裕がなく必要なワクチン接種ができないことがよくあります。外国では多種ワクチン同時接種はよく行なわれることで、国によっては6種のワクチンを1回で済ますこともあります。日本でも予防接種実施要領には医師が必要と認め、被接種者も了解した場合多種ワクチン同時接種は可能ですので、海外への出発時期がせまっている方は一度担当医に相談してみてください。

◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

* 流行性耳下腺炎

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

- 病原性大腸菌O1 24歳女、26歳女
病原性大腸菌O6 14歳男
マイコプラズマ肺炎が増加しています。
インフルエンザ患者もまだ見受けられます
(HI法で確認)。
【一宮市 城後小児科】
- 水痘、保育園で多発しています。
ムンプスも続発中
手足口病、ヘルパンギーナができました。
インフルエンザも今週4例ありました。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌感染症が流行中です。
インフルエンザ2名
伝染性紅斑2名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 18歳男、5歳女、6歳男、9歳女インフル
エンザA
68歳女、11歳男 マイコプラズマ肺炎
【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

- まだA型13名、B型2名ありました。B型は2回かかった3歳男あり。
アデノウイルス感染が多い。
病原大腸菌O25 1歳男
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- インフルエンザはなくなりました。
溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症が目立ちました。
その他水痘、伝染性紅斑散発流行
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 4月20日キャピリアでインフルエンザ検出しています(30歳代男)。
咽頭炎からアデノ検出する例があります。
【春日井市 竹内医院】
- A型インフルエンザは局所的に流行
ロタ以外のウイルス性胃腸炎もあり。
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザAがなかなか終息しません。
学校での小流行が続いています。ロタウイルスによる要入院例もかなり見られます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザ非常に少なくなりました。
ロタウイルス腸炎も減っています。
【春日井市 春日井市民病院】
- インフルエンザ7例 A型6例、B型1例
水痘、ムンプス少々
ヘルパンギーナが出てきました。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザAがまだみられました。
【春日井市 かちがわ北病院】
- インフルエンザA型6人。B型1人。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- インフルエンザA型 6件
感染性胃腸炎 頻発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 今週に入ってインフルエンザA型 再流行
【美浜町 知多厚生病院】
- インフルエンザ様の症例数件あり。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- 1歳女、5歳女 インフルエンザA
5歳男 病原性大腸菌O6
1歳男2名 ラピッドテストロタ/アデノ(ロタ+)
6歳女 カンピロバクター腸炎
【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザA型4名
【岡崎市 医療法人深田小児科】
- インフルエンザは全例A型
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 1歳女2名、2歳男 アデノウイルス滲出性扁桃炎
A型インフルエンザ 3名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ患者発生0になりました。
【岡崎市 粟屋医院】
- インフルエンザ
A型 3人(予防接種済み0人)
B型 0人
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- 3歳男 カンピロバクター、病原性大腸菌O1 VT(-)
5歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)
【幸田町 とみた小児科】
- FluA(+) 2例
【刈谷市 田和小児科医院】
- 水痘、ムンプスが流行しています。
【三好町 三好町民病院】
- ムンプス、嘔吐下痢症目立ちます。
インフルエンザたまにいます(A>B)。
【碧南市 永井小児科】
- 総検体数118
A型18、B型1 陽性率16.1%
【安城市 安城更生病院】
- 1カ月女 水痘
【西尾市 やすい小児科】
- 一部の小学校でA型インフルエンザ見られます。
A型インフルエンザ4人
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- 手足口病とヘルパンギーナがでてきました。 ● 咽頭結膜炎が発散している。
 た。 【豊川市 豊川市民病院】
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

一 ～ 三類感染症の発生状況 一 愛知県(名古屋市を除く。)-

- 腸管出血性大腸菌感染症 <関連リンク> 三類感染症ってなあに？
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	一宮	4	男	4/17	4/18	4/21	O157 VT1 (+) VT2 (+)	
2	一宮	5	女	4/21	4/21	4/22	O157 VT1 (+) VT2 (+)	
3	半田	34	女		4/16	4/20	O26 VT1 (+)	
4	知多	4	女		4/16	4/20	O26 VT1 (+)	
5	衣浦東部	15	男	4/18	4/19	4/21	O157 VT2 (+)	
*	一宮	29	男	4/20	4/23	4/26	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分
*	一宮	30	女	4/21	4/23	4/26	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分
*	一宮	45	女		4/23	4/26	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分
*	一宮	4	男		4/23	4/27	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分
*	一宮	4	女		4/23	4/27	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分
*	一宮	4	女	4/20	4/23	4/27	O157 VT1 (+) VT2 (+)	17週報告分

- 発生報告なし

愛知県感染症情報

平成 17 年 4 月 28 日

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

明日から大型連休。昨日あたりから家族連れや若いカップルが駅で目立ちます。文書作成で疲れた目で窓の外を眺めてみると新緑が日差しに輝いています。いい季節になりました。いつも貴重な情報を有難うございます。4月前半のまとめをお送りします。

1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはA型主体、B型散発でインフルエンザ流行中、ロタウイルス腸炎も多発（インフルエンザやロタ腸炎で要入院例多い）、水痘が増加中、アデノウイルスと思われる急性咽頭炎も増加して検査キットなしではインフルエンザとの鑑別困難な状況で急性咽頭・扁桃炎の入院目立つ、城北病院渡辺先生からはインフルエンザ患者は殆どなく最近インフルエンザ陰性、アデノ陰性の高熱例が増加、嘔吐下痢の急性胃腸炎がまだ散発、RSウイルス感染の喘息様気管支炎は殆どなくなったがアデノウイルス感染症、百日咳、仮性ク룹が散見、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザ消失、ロタウイルス腸炎の入院が散発、千種区今枝先生からは感染症は少ない、三菱病院入山先生からはインフルエンザA型は6名と減少（3名入院）、感染性胃腸炎3名（病原性大腸菌O1が2名、カンピロバクター1名）で1名入院、ムンプス2名、水痘1名、マイコプラズマを含む肺炎で5名入院、中京病院柴田先生からはインフルエンザが少し残っている、大同病院水野先生からはインフルエンザはほぼ消失、溶連菌感染症とアデノウイルス感染症増加（アデノウイルスが増加すると一定の割合で腸重積がみられる）、マイコプラズマ感染等で咳がひどい気管支炎が増加、肺炎気管支炎の入院増加とのお手紙でした。

2) 尾張地区：犬山市武内先生からはA群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ムンプスがそれぞれ散発中で水痘1例、4月初旬に入ってもB型インフルエンザがまだみられた、江南市昭和病院小児科からはA群溶連菌感染症とムンプスが目立ちアデノウイルス感染症とロタウイルス胃腸炎の入院目立つ、常滑市常滑市民病院上田先生からはインフルエンザと感染性腸炎（共に入院が多い）が目立ち、水痘、ムンプス、突発疹（入院あり）が目立つとのお手紙でした。

3) 三河地区：豊田市ではトヨタ記念病院木戸先生からは花粉症が多くロタウイルス感染症の入院あり、インフルエンザの入院もたまにあり、加茂病院梶田先生からはインフルエンザはかなり減少（Aが多くBは少数）、マイコプラズマ肺炎の入院が多くロタウイルス腸炎はまだやや多い、刈谷市田和先生からはインフルエンザA型4例、水痘と溶連菌感染症数例、ムンプスとアデノ陽性急性扁桃腺炎が各1例、碧南市永井先生からはムンプスと幼児～学童の嘔吐下痢症が目立つ、豊橋市長屋先生からはインフルエンザ減少、とのお手紙でした。有難うございました。

2005 年 4 月 1 日（80 巻 13 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8013/en/>

- ☆ 鳥型インフルエンザ。ベトナム：3 月 29 日。ベトナム保健省報告。鳥型インフルエンザ H5 N1 確定例 3 例追加。中部クアンビン省 5 歳男、北部ナンビン省 17 歳女性、北部クアンニン省 40 歳女性。04 年 12 月以降の合計 28 例。他に北部ハイフォンで 5 例の家族内発生（両親と女 3 例）報告あり入院中でウイルス学的・疫学的調査中。最近の報道のクアンビン省の大発生の実際は家族内か患者との接触者だけの発病で小規模発生。
- ☆ 鳥型インフルエンザ。カンボジア：3 月 29 日、同国保健省報告。28 歳男性。3 月 22 日死亡。カンボジアの第 2 例。プノンペン・パスツール研で確定。養鶏場で鶏の大量死あり（カンボジアでは農家の庭の小規模養鶏が主体）、当局はサーベイランス強化とともに病鶏に注意するようキャンペーン実施中。
- ☆ コレラ。セネガル：保健省報告。1 月 1 日～3 月 23 日、2,054 例（死亡 86）。聖地巡礼者に集団発生して拡散。検査 17 例中 14 例コレラ菌陽性。WHO が支援中。
- ☆ マールブルグ病。アンゴラ：3 月 23 日保健省報告。出血熱集団発生の死亡例 12 検体中 9 検体マールブルグ病ウイルス陽性。調査の結果、初発例は 04 年 10 月発病。現時点で 102 例（死亡 95）。増加したのはサーベイランス強化のためと思われる。75% は 5 歳以下の小児で成人例は看護者、患者家族で看護や葬儀の際など患者の体液と直接接触した例であり、WHO は保健省を通じて病院を中心とした予防策支援中。3 月 24 日の報告では WHO アフリカ地区本部、南アフリカ派遣国際チームが支援、ウイルス検査は米国疾病予防センター（CDC）が担当（注：エボラ出血熱やマールブルグ病など感染症法 1 類のウイルスの検査はレベル 4 の最も厳密な隔離実験室での操作が要求されるが現在本邦では安全性の問題からこの操作が出来ず CDC に依頼）。
- ☆ 髄膜炎菌感染症。チャド：保健省報告。1 月 1 日～3 月 16 日、387 例（死亡 53）。血清型 A 型。当局はワクチン 20 万人分を準備、WHO、MSF が支援中。
- ☆ 髄膜炎菌感染症。スーダン：2 月 7 日保健省報告。250 例（死亡 19）。血清型 A 型で当局はワクチン緊急接種開始。WHO が支援中。
- ☆ レプラ（注：ハンセン病。ここでは WHO 週報の記載；Leprosy に準じた）。世界の状況：2000 年～05 年のレプラ根絶計画は、患者登録サーベイランスの徹底と多剤併用（Multidrug therapy, MD T）の普及により順調に進捗し最近 20 年で患者数はほぼ 90% 減少、1400 万例の患者が治癒、1985 年にレプラが公衆衛生上問題であった 122 カ国の内 113 カ国で 03 年末には根絶、04 年初頭には 9 カ国となっている（WHO 地域別登録患者数、新規患者数一覧表あり）。9 カ国のうち目立つのはインド（265,781 例）、ブラジル（79,908）、ネパール（7,549）、コンゴ共和国（6,891）、モザンビーク（6,810）、マダガスカル（5,514）、タンザニア（5,420）であり他にアンゴラ、中央アフリカとなっている（詳細な国別一覧表あり）。
- ☆ 3 月 25～31 日届出。コレラ：ベニン、コンゴ共和国、赤道ギニア、モザンビーク。2005 年

2005年4月15日(80巻15号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8015/en/>

(注: 80巻14号は未着。繰り上げて15号をお送りします)

- ☆ 鳥型インフルエンザ。カンボジア: 4月15日保健省報告。8歳女。4月7日死亡。同国の3例目。プノンペン・パスツール研でH5N1陽性。保健省、WHO、国連食物農業機構(FAD)合同チームが調査。鶏の大量死は発生したが人から人の伝播は否定的。
- ☆ コレラ。セネガル: 保健省報告。3月28日~4月3日、3,475例。聖地巡礼者からの広がり。近隣諸国はサーベイランス強化中。
- ☆ マールブルグ病。アンゴラ: 4月9日時点で214例(死亡194)。
- ☆ マールブルグ病。WHOの公的説明(Fact sheet): 病原体はエボラウイルスと同じフィロウイルス(電顕でフィラメント状)科のRNAウイルス。昆虫を含め何百種かの動物の熱心な追求でも今だに自然宿主不明。人以外に猿類も感染するが感染後早期に死亡、猿から猿に常存している可能性は少ない。人への感染経路は患者との濃厚な直接接触、特に血液の混在した分泌液。通常の接触では感染せず気道エロゾル感染も否定的で、看護や埋葬時の接触。潜伏期3~9日。初発症状は高熱と頭痛、高度の全身倦怠、重症下痢。5~7病日から重篤な出血(吐血、下血、大量の粘膜出血)、意識障害、8~9日に出血性ショックで死亡。1967年フランクフルト近郊のマールブルグと旧ユーゴ・ベオグラードのポリオ生ワクチン製造所でワクチン製造用にウガンダから輸入されたアフリカミドリザルと接触した従業員が発病、担当医に二次感染あり。その後今回までに南・中央アフリカで3回発生の報告あり(詳細: 略)。ワクチン、治療薬は未だ開発されていない。患者との接触、日常看護、医療器材の取扱いに関するWHO勧告を厳密に守ること。
- ☆ ペスト。総説。(1)概要: 主として小動物とノミの間で循環していて時に人が感染する人畜共通感染症。原因菌はペスト菌(*Yersinia pestis*)。感染経路は感染ノミの刺傷、気道感染、稀に感染材料から。発病者の死亡率は無治療で30~60%。潜伏期3~7日。突然の高熱、悪寒、頭痛、倦怠、嘔吐下痢で発病。臨床的に腺ペスト、敗血症ペスト、肺ペストの三型に分類される。腺ペストは最多の型でノミの刺傷から感染、有痛性のリンパ節腫腫著明。敗血症型は腺ペスト経過中や腺ペストの症状なしに重症化、肺ペストは例数は少ないが重症で腺ペストから進行する場合と気道感染とがあり、重症の肺炎で死亡率が高い。(2)治療: 抗生剤の早期投与と一般的保存的治療。(3)情報確認: 常在地への旅行、常在地における発生状況の把握などが重要。(4)ワクチン: 有効性に問題があり一般的ではない。ハイリスク群(常時ペスト菌を扱う職種など)に予防的に接種。
- ☆ 4月8~14日届出。コレラ: コンゴ共和国、赤道ギニア、ナイジェリア、セネガル。

愛知県感染症情報

2005年第16週(平成17年4月18日～平成17年4月24日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く。)	クラミジア肺炎	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	0	710	35	185	679	283	48	17	157	0	1	41	0	157	1	26	0	0	6	0	0	
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	0	580	27	130	498	228	41	16	117	0	0	32	0	127	1	23	0	0	6	0	0	
名古屋	70	70	11	14	1		130	8	55	181	55	7	1	40		1	9		30		3						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	41	11	17	33	10		3	13			1		2		3			2			
海部	津島	7	7	2	2	1	8		1	36	4		2	4					15		2						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		12			15	4		2	2					2								
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	38	2	8	39	5	11		8					4								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	137	5	8	27	11			17			8		9								
	江南	6	6	1	2		6	1	15	42	52	4	2	7			3		20		1						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	81		5	12	2	5		7					8								
	知多	7	7	2	2		18	2	6	21	9	1	1	9					2		6						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	22	1	5	9	11	2		15			2		18								
	衣浦東部	13	13	2	4	1	84		11	37	30	3	3	8					16		4						
	西尾	5	5	1	2	1	21		11	19	3	2		4					4		1						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	23	1	18	141	19			4					6					4			
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	71	1	20	52	29	9	3	12			15		2		6						
	豊川	9	8	1	2	1	17	3	5	15	38	2		7			3		19	1							
東三河北部	新城	2	2			1	1				1	2															

4月1日から保健所再編により加茂保健所が衣浦東部保健所加茂支所となったことに伴い、加茂保健所3医療機関の定点が衣浦東部保健所(2医療機関)と豊田市(1医療機関)に移りました。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第16週(平成17年1月3日～平成17年4月24日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	115	79,212	502	2,824	18,278	4,242	371	333	1,592	16	10	121	7	2,902	4	367	2	0	105	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	97	62,880	379	1,978	13,034	3,301	316	268	1,212	14	3	93	5	2,243	4	299	2	0	105	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	18	16,332	123	846	5,244	941	55	65	380	2	7	28	2	659		68					
尾張東部	9	9	2	3	1	14	4,071	115	188	643	187	1	24	78	1	2	5	1	60		11			32		
海部	7	7	2	2	1		3,192		70	1,038	126	6	20	46					255		10			2		
尾張中部	4	4	1	1			2,056		53	422	107		10	22					23		11					
尾張西部	16	12	3	4	1		4,434	19	117	998	204	87	10	98					160	1	13	1				
尾張北部	9	9	2	3	1	17	7,224	86	127	890	261	8	15	128	1	1	17	1	107		23					
	6	6	1	2		3	2,720	47	224	928	250	32	8	119			11	1	243		19					
知多半島	6	6	1	2	1	5	2,897	26	66	621	220	38	23	50	1		2		145		5			1		
	7	7	2	2		7	3,753	19	295	745	157	3	14	106			1		192		11					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	6,099	4	131	369	192	39	11	148	2		6		290		10					
	13	13	2	4	1	6	8,934	12	165	1,063	495	30	69	118			2		263		77			6		
	5	5	1	2	1	11	1,887	6	85	418	164	22	14	53			6		64		17					
西三河北部	9	9	2	4	1	8	4,587	7	204	2,716	306	18	13	98	8		2		214		44	1		45		
東三河南部	12	8	2	4	1	1	6,760	30	151	1,217	254	17	14	91			29		42	1	37			17		
	9	8	1	2	1	20	3,604	8	101	937	358	12	23	56	1		12	2	180	2	11			2		
東三河北部	2	2			1		662		1	29	20	3		1					5							

4月1日から保健所再編により加茂保健所が衣浦東部保健所加茂支所となったことに伴い、加茂保健所3医療機関の定点が衣浦東部保健所(2医療機関)と豊田市(1医療機関)に移りました。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第16週(平成17年1月3日～平成17年4月24日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	97	62,880	379	1,978	13,034	3,301	316	268	1,212	14	3	93	5	2,243	4	299	2	0	105	0	0
～6ヶ月	49	313	8	5	185	78	6		74	5		1		1		1					
～12ヶ月	21	936	23	14	931	218	25	8	707	1		4		9		3					
0歳																	1		4		
1歳	15	3,223	85	72	2,140	582	62	20	403	1	1	23		94		7			15		
2歳	9	3,636	53	116	1,415	590	56	17	25			20	1	204	1	15			19		
3歳		4,241	56	198	1,088	546	50	25	2	1		15		286		11	1		10		
4歳	1	5,478	62	354	1,022	579	40	38				12	1	481		7			9		
5歳	1	5,426	33	410	857	342	31	38				2	2	399		10					
6歳	1	5,311	30	274	635	161	17	42		1		3	1	315	1	1					
7歳		3,969	4	167	473	68	6	27			1	4		151		2					
8歳		3,607	3	122	387	46	4	16				1		102		2					
9歳		3,149	6	72	326	16	2	13				2		59		2					
5歳～9歳																			29		
10歳～14歳		5,728	9	103	815	52	3	17	1		1	5		99		7			6		
15歳～19歳		975		6	299	6		1						5		4			1		
20歳～			7	65	2,461	17	14	6		5		1		38							
20歳～29歳		4,206														42			1		
30歳～39歳		6,031														86			4		
40歳～49歳		2,598														32			1		
50歳～59歳		1,832													2	23			1		
60歳～69歳		1,133														23			1		
70歳～																21					
70歳～79歳		664																	3		
80歳以上		424																	1		